

行動科学・実装科学セミナー

令和4年第4回実装科学セミナー

演者： 大阪国際がんセンターがん対策センター
疫学統計部 部長補佐

田淵 貴大先生

演題：エビデンスとプラクティスのギャップを測る
共同研究プラットフォームへのご招待

日時 令和4年9月9日(金) 16:00 ~ 17:00
開催方法 Web会議システム (Zoomミーティング)
参加申込 <https://forms.office.com/r/5P2GvwJFwQ>
参加申込メ切 令和4年9月9日(金) 17:00
(セミナー終了まで)



講師プロフィール：

専門は公衆衛生学・疫学（医師・医学博士・社会医学系専門医・指導医）。血液内科医を経て、医学博士取得後、現職。タバコ対策や健康格差の研究に主に従事。近著に「新型タバコの本当のリスク」「2020年4月1日は受動喫煙からの解放記念日!?(共著)」等。

セミナー要旨：

実装科学を推進するための基盤となる情報として、エビデンスとプラクティスのギャップを測る必要があります。誰でも参加できる共同研究プラットフォームとして、インターネット調査JACSISxJASTIS研究や政府統計などの既存統計資料を活用するプロジェクトに皆さまをご招待いたします。

主催：国立がん研究センターがん対策研究所 支持・サバイバーシップ研究グループ
N-EQUITY (健康格差是正のための実装科学ナショナルセンターコンソーシアム)

共催：RADISH (D&I科学研究会)、J-SUPPORT (日本がん支持療法研究グループ)
早稲田大学人間科学学術院

問い合わせ：国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学研究部
実装科学研究室 島津・齋藤 impsci-sem@ml.res.ncc.go.jp